

令和7年度認知症疾患医療センター研修会 『認知症治療の展望』の開催報告

【開催概要】

- (1)日 時 令和7年11月7日（金）18:30～20:00
(2)開催方法 オンラインにて開催
(3)講 師 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
認知症疾患医療センター長 嶋田 兼一 先生
演題：「軽度認知障害・軽度認知症/アルツハイマー病の新薬・抗アミロイドβ抗体薬剤について」
精神科長 曽我 洋二 先生
演題：「うつと認知症」

- (4)参加者数 67 関係機関 106名

(関係機関の内訳)

開業医	8 関係機関 11名
居宅介護支援事業所	11 関係機関 14名
地域包括支援センター	8 関係機関 11名
認知症疾患医療センター	4 関係機関 6名
病院	11 関係機関 53名
訪問看護ステーション	4 関係機関 5名
歯科医院	1 関係機関 1名
不明	関係機関 5名

(職種の内訳)

医師	14名	看護師	30名
認知症認定看護師	3名	理学療法士	11名
歯科医師	1名	作業療法士	8名
保健師	2名	公認心理師	2名
主任介護支援専門員	11名	介護支援専門員	6名
社会福祉士	3名	精神保健福祉士	6名
介護福祉士	1名	認知症担当	2名
事務職員	1名	不明	5名

(5).本日の講演会についてのご意見、ご感想。

- ・2種類の新薬について、存在は知っていたが詳しく知ろうとしていなかった。今回の勉強会でかなり詳しいところまで話が聞けてとても参考になった。
 - ・鬱とMCI、認知症について関連性や見分け方、また論文でも明らかになってきているなど学べて今後の参考になりました。また、認知症のメカニズムや進行状況と薬剤の効果を合わせて説明していただき、分かりやすかったです。ありがとうございました。
 - ・高齢者うつと認知症についての比較があることで理解しやすかったです。フローチャートが解りやすかったです。
 - ・アルツハイマー病の皮下注射が認可され、自己注できる簡便なものができたら、通院の負担が少なくなるのではないかと思った。とても興味深い内容でした。ありがとうございました。
 - ・APPからプラーカができるまでの過程、新薬の作用機序などがとても勉強になりました。
- 他にも沢山のご意見・ご感想を頂きありがとうございました。今後の研修会の参考にさせて頂きます。